

11/19 菊池教育会が
信友社賞を受賞

菊池教育会（木原昭三^{きばらしょうぞう}会長）が信友社賞を受賞しました。この賞は、熊本の学術・文化・体育の振興という趣旨に基づき、昭和51年に制定されたもので、文教菊池の再興に尽力する同会の功績が評価され、今回の受賞となりました。菊池教育会は大正4年に発足し、96年間本市の教育振興に貢献してきました。近年は「菊池塾」を開設し、さらに親子で学ぶ「菊池子ども論語塾」を通して「文教の郷づくり・人づくり」を目標に活動しています。



左から福村市長、表彰状を手にする木原会長、同会専務理事の田中忠彦^{たなかただひこ}さん、倉原教育長

11/20 田島保育園「さとうきび
収穫祭（ふくしまつり）」

七城町蘇崎の農地で、田島保育園「さとうきび収穫祭（ふくしまつり）」が開催されました。ステージイベントでは泗水中学校吹奏楽部による演奏のほか、同保育園児による神楽や菊池北中学校生徒による紙芝居が行われ、会場はにぎわいを見せました。

会場では、サトウキビ刈り取り体験、絞り体験などがあり、来場者に「キビジュース」や郷土料理が振る舞われました。参加した保育園児は、「キビジュースが甘くておいしい」と笑顔を見せました。



①サトウキビ刈り取り体験／②田島保育園きりん組による神楽の披露
③サトウキビ絞り体験

11/18 おがたかずとし
菊池市消防団緒方一敏副
団長が「藍綬褒章」を受章

菊池市消防団の緒方一敏副団長が「藍綬褒章」を受章しました。今回の受章は、菊池市消防団で団員30年の長期にわたり、消防団幹部としての活躍と消防団の発展に貢献したことが認められたものです。緒方副団長は、女性消防隊の操法大会出場など指導員としても大きく貢献しています。

受章おめでとうございます。



受章した緒方副団長

11/20 菊池市子ども会大会

菊池市子ども会大会は、旭志公民館で開催され、レクリエーションと木工教室を行いました。

レクリエーションでは、いろいろなゲームで体を動かし、その後の木工教室では、平椅子作りに挑戦。慣れない金づちを手に、釘を打ったりのこぎりを挽いたりして、友達、保護者やスタッフと相談しながら、楽しく椅子を完成させました。



平椅子を作る子どもたち、保護者とスタッフの皆さん

11/16 菊池南中学校生徒が白龍
のモザイクアートを制作

菊池南中学校の3年生8人が、モザイクアートを制作しました。モザイクアートとは、着色した四角の点を大量に集めて一つの絵画にしたものです。この作品は、きくち夏まつりの白龍がモデル。卒業にあたり学校に残るものを作りたいとの思いから制作しました。制作に携わった上野美玲^{うののみれい}さんは、「下書きがとても大変でしたが、作品を見た人たちから『すごい』と言われてうれしい。モザイクアートをして本当に良かったです」と喜びを語りました。



モザイクアートを制作した菊池南中学校の生徒たち

11/16 ようこそ隈府小学校へ！
～西米良村交流事業～

姉妹都市である西米良村立村所小学校の5・6年生19人が、11月16日から3日間本市を訪れ、隈府小学校の生徒と交流しました。この事業は、お互いの伝統文化を披露することで関心を深め、将来にわたり両市村の友好を育むことを目的としたものです。授業では方言や歴史文化の違いを学び、まとめの会では村所小児童が西米良神楽を取り入れた神楽体操を披露。最後には全員で「ハナミズキ」を合唱し、児童たちは楽しい思い出をつくりました。



白装束で披露する村所小神楽体操

11/18 友好都市岩手県遠野市の市民交流団らが来菊
～19

本市の友好都市である岩手県遠野市から市民交流団ら14人が本市を訪れました。これは「菊池都市間交流の会」が主催したもので、毎年秋に交流団を受け入れ、交流を続けています。

18日、一行はたまご庵や菊池夢美術館など市内を見学し、夜は菊池都市間交流の会の会員らと交流を深めました。19日は、菊池神社で獅子踊りを奉納し、市役所でも市民らに舞を披露しました。また、遠野市は東日本大震災の後方支援拠点として精力的



笛の音に合わせて張山獅子踊り保存会の7人が舞を披露しました



東日本大震災50日の記録を基に説明する及川副市長

に活動しており、本市からも支援物資を多数送っています。そのため、今回は及川増徳^{おいかわますのり}副市長を含む後方支援担当者3人も訪れ、東日本大震災における後方支援活動についてのDVD上映と及川副市長による講話があり、本市の支援に対してお礼も述べられました。震災直後から国や自衛隊と連携した支援活動について説明され、出席した職員や消防関係者など約60人は真剣に耳を傾けていました。